

次年度 R I 会長 . . .

ロータリー情報委員長 高橋 進

皆さま、こんにちは！ 2月号のロータリーの友にのっております次年度の R I 会長に指名された田中作次様は1975年、八潮ロータリークラブに入会されました。R I 会長に指名されたときは驚いたと同時にうれしかったそうです。八潮ロータリークラブは火曜日が例会日で場所は埼玉県信用金庫 八潮支店 2階です。クラブ一日会長のときのご挨拶を紹介いたします。



(次期 R I 会長 田中作次様)

「クラブ一日会長 挨拶」
田中作次 様

私は1975年にロータリーに入会しました。もう36年になります。ロータリーに入って5年目で会長になりましたが、私が決まっていたわけではなく、会長に決まっていた方が急にできなくなったので私が務めました。41歳の時です。

非常にいい年度だったと自分では思います。ロータリーの良さは最初から分かっているわけではないので、私は八潮ロータリークラブの初代会長に誘われて入会したわけですが、当時は東京からこちらに引っ越してきたばかりで、地域の方と馴染まなきゃいけないということで、何だか分からず入会しました。何だか分からないというのは、「ロータリー」の意味が分からなかったんですね、駅前にあるロータリーかと最初は思いました。ロータリークラブの意味が分からなかったんですが、それからしばらくして、ロータリーの意味が分かりました。ですが、初めの頃はロータリーがつまらなくて、2度ほど辞めようと思ったこともありました。しかしある時をきっかけにして、これは大変素晴らしいところだと分かったんです。当時は私は新潟県から東京に出てきて、商売を成功させて、豊かな暮らしができればいいと思ってました。ところがロータリーのいろんな話を聞いているとそうでないことが分かってきたんです。それは自分のためだけでなく、他人のために役立つのが人間の生き方なんですよ、ということが身にしみて分かって、ああ～人々のために私たちは生まれてきたんだと、そして地域社会の発展のために我々は生まれてきたんだというこ

うことです。そういう方がみんな世界中で活躍することによって、それが世界平和に結びついているんだ、ということを知って良かったなと思います。

それ以来ロータリーで学ぶことが多く、何かの縁で私は来年度国際ロータリーの会長という役を受けることになりました。これも狙ってなったわけではありません。

私は一昨年、この話をすすめられ、私はお断りしたんです。そうしたら1年後、もっと強い勢いで誘いがありまして、これはもう運命だ、これ以上逃げられない、あるいはロータリーを辞めるかの選択肢しかないと思い受けました。受けるということはまず立候補しなければならないんですね。その時6～7名立候補しておりました。立候補するためには自分の方針、抱負といったものを15分間ビデオに撮影します。それを元に委員会で選挙するんです。そうして私が国際協議会で認められ、ノミネートされました。だから人間はいつどうなるか分からないんですね。その時巡りあったことに前向きに対応していくことが一番大事だと思います。そして自分の都合のいいことだけもらっていこうという発想ではなく、難しい、嫌な仕事ほど私に任せてくれ、ということと言えるように心掛けていけばいい幸せな人生が開けるのではないかなと思います。

(八潮ロータリークラブ会報より転載)



ニコニコBOX

伊師 嗣迪 会員

母が、2月20日満99才を迎えました。大正2年生まれです。終戦の年 私は5才 妹3才 母32才。父が17年に応召して22年12月シベリヤから帰還するまでの5年余り 女手一つで 私たちを支えてくれました。近所の方の支援に感謝。

齋藤 国春 会員

今日で71才になりました。「はるばる来ぬる 旅をしぞ思ふ」という心境です。

高崎 卓哉 会員

結婚祝いのお花ありがとうございます。



ロータリーの実践倫理

「最もよく奉仕するものは、最もよく報われる」 He profits most who serves best.

《会報・IT・雑誌
・広報委員会》

委員長：伊師 嗣迪
委員：平田 洋一

副委員長：大川 隆永
委員：高崎 卓哉

社会奉仕基金
4,742円

WEEKLY REP RT

国際ロータリー第2790地区第12分区
松戸北ロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 国際ロータリー・テーマ

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 1・真実かどうか
 - 2・みんなに公平か
 - 3・好意と友情を深めるか
 - 4・みんなのためになるかどうか

第1907回 例会 (第 32 週) 2012年 2月 21日(火)

国際ロータリー会長カルヤン・パネルジー
第2790地区ガバナー 山田 修平
第12分区ガバナー補佐 安井 克一
松戸北ロータリークラブ会長 鈴木 悦朗
松戸北ロータリークラブ幹事 児山 守治

例会日 - 毎週火曜日12:30より(第1例会18:30)
例会場 - 松戸市根木内249-7 北小金ポウル1F
事務所 - 松戸市根木内249-7 榊山安内
TEL/FAX - 047-344-5696 / 047-344-5696
Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

The Ideal of Service (奉仕の理想) にむけて夢を追いかけよう

2月第3例会会長あいさつ

会長 鈴木悦朗

皆さんこんにちは。おととい、昨日と久しぶりに熱海の温泉に行ってまいりました。

熱海は松戸よりあたたかく、旅館の梅も咲き誇っていて、春の訪れを感じてまいりました。ただ寒い日が続いたので、梅園の梅は、例年より半月ほど遅くまだ3分咲きのことでした。

さて2月23日はロータリーの創立記念日です。

先輩会員には幾度となく聞かれたことと思いますが、新しく会員になられた方々のためにお話しいたしますのでお許しください。ロータリーの創立当初のこと今から107年前の1905年(明治38年)2月23日に、その頃、経済恐慌で人心の荒れやすんでいたアメリカ社会、特にシカゴの状態を憂えた青年弁護士ポール・ハリスが、かねて抱いていたアイディアについて3人の友人と会合したときに始まりました。その3人とは、石炭商のシルベスター・シール、鉱山技師のガスターバス・ローア、そして仕立業のハイラム・ショーレーでした。ポール・ハリスとこの3人は、シカゴ市内のローアの事務所では会合し「事業をする人が友愛の気持ちをもって親しみ合い、仕事の上での知り合いの輪を広げていくために、定期的に集まる会をつくる」というかねてからのアイディアを提案しました。これについて4人がいろいろ話し合った結果、一つの職業から1人だけを会員として選んで、男性のクラブをつくることになったのです。このクラブは週に1回、会員の店あるいは事務所を輪番につかうことにしたのは、会員がお互いの仕事について、よく知ることができるようにするためでした。この輪番にちなんでクラブの名称を「ロータリー」としたのです。その後「よく奉仕するものは報われる」というアーサー・F・シェルドンの奉仕の経営哲学の導入もあり、一躍発展してゆきます。

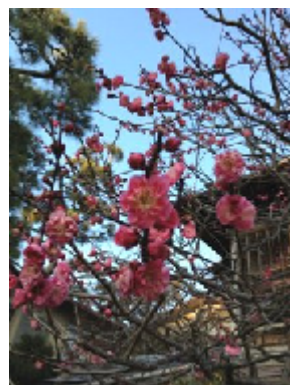
1989年7月からは「男性」の文字を削除し、クラブは女性も男性と同じ条件で会員として選挙することが出来るようになりました。ロータリーは「人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において、高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業および専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である」と定義。

され、ロータリー・クラブは「奉仕の理想を、各人の個人生活、事業生活、および社会生活実践の基盤とすることに同意した、事業と専門職務に携わる人によってできたクラブ」と定義されています。

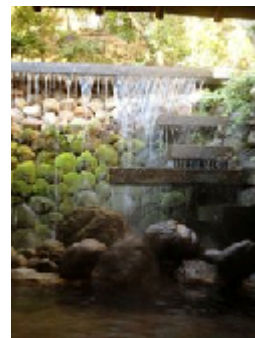
ロータリーは、人種、信仰、政治的信条にかかわらず、すべての民族やすべての国々の国民が、平和と友好の雰囲気の中に集えるようになっております。そして対立と分裂をもたらす活動にかかわることを避け、共通の利益を重んじ、お互いの理解と協力の心を培っていくものです。

ロータリアンとは

ロータリー・クラブの会員であり、事業や専門職務に携わる人であることから、自己の職業を単に生活の基盤とするだけでなく、地域社会の人々に幸を分かち合う場としてとらえ、それを実践するように強く求められています。ロータリアンはお互いに協力し合って、理解と友情を深め、商業道徳の向上に務め、また海外においても国際的な友好団体の会員として、さまざまな条件を改善する機会が得られます。そして如何なる宗教的、政治的信条をもとうとも、問題にされることはありません。その母国に忠誠を尽くし、自己の宗教的な信条に忠実であるように求められています。



(熱海の梅)



本日の幹事報告はございません

本日のお客さま

川上 伸夫様(松戸西ロータリークラブ所属)

ロータリーの徽章

ロータリーの発足当初は、単純な車輪の形でしたが、以後6回の変遷があり、1921年の大会で正式に制定されました。6本の腕木と24の輪歯と一つのクサビ穴のある歯車からなり、輪縁にRotary Internationalの文字が書かれています。色はロイヤルブルーと、金色を使うことになっております。大きさには制限がありませんが、各部分の大きさの比例は厳重に定められています。宝石や数字などを入れたものは正式に認められていません。また徽章は、全ロータリアンのみの使用がその利益のために保全されており、他の目的のために使用することは厳重に規制されています。

卓話

手続要覧によると、卓話は、例会の昼食後、約30分間行われる講話で、ロータリアン以外の方が招かれることが多いのですが、会員のリーダーシップ養成のために、ロータリアン自身が、卓話者となることが奨励されています。

107年のロータリーの歴史を紐解くならば、ロータリーの中核となる価値観は、**奉仕**(Service)と**親睦**(Fellowship)を車の両輪とし、**多様性**(Diversity)を認めながら、「超我の奉仕」Service above selfという奉仕哲学に基づき、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」He profits most who serves bestという実践倫理や4つのテストに照らして会員ひとりひとりがクラブ、職場、地域社会に向けて「**高潔性**(Integrity)のある**リーダーシップ**(Leadership)を発揮することにあります。

どんな組織でも長い歴史の中で原点を見失うことがあります。この中核となる価値観を忘れてはならないと思います。ロータリーの創始者ポール・ハリスは、「世界は絶えず変化しています。私たちは、この変化する世界とともに変わっていく心構えがなければなりません。ロータリー物語は、繰り返し、繰り返し、書き直す必要があるでしょう。」

とありますが、ロータリーで変えてもいかなばならないものは、時代に合わせたRI・地区・クラブの組織の管理運営および奉仕活動の実践であり、ロータリーで変えてはならないものロータリーの中核となる価値観です。右肩上がりの時代は、クラブがどんな運営をしていても、おつきあいで会員が増え続けましたが、バブルの崩壊、リーマンショック、政治不況、東日本大震災を受けて、第2790地区は会員の減少傾向に歯止めがかかりません。一昨年、昨年と地区で調査をかけ、その理由がはっきりしています。経済情勢もありますが主な理由は、「ロータリアンであることにプライドを感じない」、「ロータリアンとしての自覚がない」でした。

今年度の方針の中に「**会員増強**」、「**例会の充実**」、「**スタイルを磨く**」のほかに「**研修**」という項目を設けたのは、「**ロータリー**」について初心にかえってもっと勉強しようという意味です。

3月は「ローターアクト月間」、「識字率向上月間」ですが、当クラブでは「ロータリー研修月間」とし、

3月13日の例会に
織田吉郎バスターガバナー



3月27日の例会に
白鳥政孝バスターガバナー



をお迎えし、「ロータリーの心」について語っていただきます。私が地区委員をつとめた中で先日お迎えした杉木バスターガバナーとともに、ロータリアンとしてのやる気を起こさせてくれる私が尊敬するバスターガバナーです。「**入りて学び、出でて奉仕せよ**」(Enter to learn, Go forth to serve) 皆さん全員出席をお願いいたします。



ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。